

■ACIIA®理事会ならびに年次総会が本年6月23日、24日に開催されました。

CIIA®（国際公認投資アナリスト®）資格試験を管理・運営しているACIIA(The Association of Certified International Investment Analysts:国際公認投資アナリスト協会)の理事会・年次総会が6月23日・24日スイスのジュネーブにて開催されました。

この会議には、アジア・ヨーロッパ・南米・アフリカから、メンバー協会ならびにASIF（アジア証券投資アナリスト連合会）、EFFAS（ヨーロッパ証券アナリスト協会連合会）の代表者のほか、英国の教育機関CISIやノルウェーなどのオブザーバーを含め、総勢38名が出席し、主として以下の諸点につき議論および決定をしました。

- ① 2009年決算・監査報告、2010年・2011年予算案の承認、CIIA2010年3月試験結果報告ならびに今後の試験日程の確認、理事選挙等の定例議案。
  - 2009年決算では、期間利益約11百万円を計上し、その結果、累積利益も約17百万円に増加したものの昨今の世界的に厳しい経済情勢から今後も各メンバー協会ともACIIAの財政健全化の維持に努力する。
  - CIIA広報活動を強化するための予算を従来の約3倍とする。
  - 理事選出については、従来の理事10名（ASIF、EFFAS、ブラジル、中国、フランス、ドイツ、インド、イタリア、日本、スペインおよびスイス）が再選された（任期1年）。また、会長、副会長の任期も満了となったことから理事の中から互選がおこなわれ、Rau会長（ドイツ協会会長）、萩原副会長（当協会専務理事）がそれぞれ会長、副会長に再選された（任期2年）。
- ② ペルーおよびケニア両証券アナリスト協会のACIIA加盟を承認したほか、将来加盟する可能性の高い協会に関し意見交換を行った。
  - 昨年10月のリトアニア加盟に続き、今回ペルーとケニアがACIIAに加盟したことから個別のメンバー協会数は33となった。また、来年ACIIA年次総会のホスト役を務めるクロアチアをはじめ、オブザーバーとして参加したCISI（英国の証券アナリストなどの教育機関）や、アジア、ヨーロッパ、南米の国々からさらにACIIAに加盟するものと期待される。
- ③ CIIA試験の採点基準や採点方法などにつき再確認。
- ④ CIIA試験科目からみたACIIA国際試験委員会（IEC）の適正なるメンバー構成とIECメンバーに相応しいACIIA組織上の位置づけ。
  - IECメンバーは9名で構成されているが、CIIAプログラム、試験等の質の維持・向上を図るため各メンバーの役割を明確にするとともに、

CKB (Common Knowledge Basis) 全体を網羅するメンバー構成にする。また ACIIA 組織上、著名な IEC メンバーに相応しい位置づけを検討する。

- ⑤ CIIA 資格保有のメリットをさらに向上させるための方策の一環として進めている、個別メンバー協会が提供する外国の CIIA 保有者向け無料セミナーの輪を一層広げる。
- ⑥ CIIA 保有者間のコミュニケーションの向上策の一環として進めている CIIA Forum を発展的に解消して LinkedIn などを含めたより使い勝手のよいものに移行させる。
- ⑦ ACIIA 設立 10 周年記念 CIIA 特別セミナー等の事業推進。

—CIIA 試験実施 10 周年記念事業については、当協会が 11 月 11 日 CIIA 特別セミナーを開催予定のほか、スイス協会やフランス協会なども 10 周年記念事業を検討中。

(ご参考)

ACIIA ホームページ(<http://web.aciia.org>)では、Quarterly Newsletter や Directory などをご覧になれます。また、そこから ACIIA メンバー 35 協会 (含: アジア、ヨーロッパのアナリスト連合会)のホームページにもアクセス可能です。

## ■ILPIP(国際証券アナリスト学習教材提供協会)の年次総会を開催

ACIIA 理事会・年次総会に合わせて、CIIA 教育プログラム充実の一環として CIIA 試験用教材の提供を目的とする非営利法人 ILPIP (国際証券アナリスト学習教材提供協会、本部スイス) の年次総会が 6 月 22 日開催されました。

この理事会では、2009 年決算・監査報告、2010 年予算案、理事選出などの定例議題のほか、ILPIP メンバーについては運営上の観点から現状の 9 創立メンバーに限定するものの、非メンバー協会が CIIA 関連教材を使用する場合の費用については、弱小協会の財力なども考慮の上、上限を設ける旨の決定を行いました。

また遠隔教育(distance learning)のプロジェクト SPOT(The Study Platform Online Tool)の活用状況や、債券分析の一部を見直すためのマニフェスト等が報告されました。